

アモーレ!

市川市立福栄小学校学校だより  
令和元年6月24日

3号



## 大運動会 『勝ち取ろう 年に一度の大勝負』

5月25日(土) 雲一つない晴天に恵まれ、令和元年度の大運動会を実施しました。

令和初めての運動会で東京オリンピック前年でもあるため、お父さんの会の方と用務員さんの力を借りて聖火台を作製し、点火セレモニーを行いました。

この日は、気温の上昇が懸念され、事前に暑さ対策・熱中症対策の文書を配付させていた

だきました。氷や涼を取るためのグッズ等、ありがとうございました。

給水タイムをとることと、子どもたち全員が

テントの中で応援できる体制が組めれば、プログラムに大きな変更なく実施できると考え、急きょ福栄中学校と自治会の方にお願ひし、テントを借りました。

当日は、予想以上の暑さで、テントの中の最高気温は35.7度でしたが、



水分をしっかり摂り、具合の悪い子が出ることもなく、みんな元気に競技・演技ができました。

温かい応援をありがとうございました。

また、朝早くから終了後も会場整備やパトロール、テントの設営等にご協力くださったお父さんの会や保護者の皆様、ありがとうございました。

応援も例年以上に盛り上がり、白熱した戦いが繰り広げられました。

ドラマも数多く生まれ、子どもたちにも心に残る一日となりました。

結果は、今年白組が勝ちました。応援賞は紅組が獲得しました。



### 【紅白リレーの対応について】

紅白女子リレーでは、1位でゴールしたチームが失格となり、涙する場面がありました。地域の方からはお手紙もいただきました。

「はたして これは教育的か、平等であったか」と

私は、当日に至るまでに、ルールの確認、練習等で何度も指導を受けていることなので失格は致し方ないと考えていました。しかし、当の子どもたちの心に傷として残るのは残念であったため、当該チームのメンバーを呼んで、話をしてみました。すると子どもたちは「悔しかったけど、失格にされて良かった。」と誰もが話しました。

ルールにのっとって行っている競技だということをしかりと理解し、誰を責めることなく、凜としている姿に、私まで誇らしさを感じました。

### 【運動会後の作文より】

「黄色速いです。その調子でがんばってください。」

声が聞こえてきました。これは女子リレーの時のことです。

私は黄色チームで、黄色チームの人はとても速くて、練習でも一位を取れるほどでした。

しかし、本番では失格となり、最下位となってしまいました。でも、失格しても仲間どうして助け合っていました。とてもくやしかったけど、一位でゴールテープをきることができうれしかったです。リレーが終わってくやしくて泣いていたけど、姉や友達、友達のお母さん達がたくさん励ましてくれました。

「速かったね」「おしかったね」「だんとつで速かったのは黄色だよ。」ってたくさんいってもらえました。私はアンカーとしてチームのリーダーとしてがんばれたと思います。黄色のチームは私にたくさん話をしてくれたり、すごくなつてくれたのでうれしかったです。



### 【ちょっと残念な話】

閉会式終了後、5・6年生が片づけを終え、教室へもどったころ気付きました。

タイヤ脇の植え込みに、ソーメンのつゆが流されていることに・・・

今日は暑かったから、お昼にソーメンは良かっただろうな。

でも、なぜここに流すのでしょうか。

福栄小の保護者の方の温かさ、そしてモラルの高さに日々頭の下がる  
思っていますので、余計にショックでした。

もし、持ち帰れないなら声をかけてくだされば・・・

どこでも直接流すことはいけないですが、校内に流されてしまうとは・・・

PTA本部の方とできるだけ薄まるように水を流しました。

### ～お願い～

毎年、応援団長が着る袴を地域の方からお借りしております。

もし、道着（剣道・柔道・空手等）が不要になり、お家に眠っている方がいらっしゃいましたら、学校に寄付していただくと大変ありがたいです。  
よろしくお願ひいたします。

## 着任者紹介

今年度、2・4・6年生の算数少人数指導を行っていた、高橋幸乃教諭ですが、体調が思わしくなく産前休暇取得前に休みに入らせていただきました。その代わりに、花立宜子（はなたてよしこ）が少人数指導として着任しましたのでお知らせいたします。

また、4月にゆとりぎ相談員として着任した津川きよみですが、体調が思わしくなく、5月をもって退職いたしました。6月からは、これまでスクール・サポート・スタッフで勤務していた、小屋敷律子（こやしきりつこ）がゆとりぎ相談員として着任しました。

これまで同様よろしくお願いいたします。

